

2024年6月11日

各 位

上場会社名 東亜建設工業株式会社
代表者 代表取締役社長 早川 毅
(コード番号 1885 東証プライム・札証)
問合せ先責任者 管理本部総務部長 中尾 昌義
(TEL 03-6757-3821)

第134回定時株主総会の議案に関する補足説明について
(議決権行使助言会社 ISS 社の反対推奨に対する当社の見解)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2024年6月27日に開催を予定しております当社第134回定時株主総会の第4号議案「補欠の監査等委員である取締役2名選任の件」(以下「本議案」)に関し、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc. (以下「ISS社」)が、候補者番号2の玉井 哲史氏の選任に対して、反対を推奨しているとの情報を入手いたしました。

つきましては、当該議案に関して、下記のとおり当社の見解を補足させていただきます。

記

1. ISS社の反対推奨内容

ISS社では、本議案における候補者番号2玉井 哲史氏の選任について、当社の会計監査人である EY 新日本有限責任監査法人での勤務経験があるために独立性に欠けるとして反対推奨をしております。

2. 当社の見解

玉井氏は、1991年10月にセンチュリー監査法人(現、EY 新日本有限責任監査法人)に入所し、2017年6月に新日本有限責任監査法人(現、EY 新日本有限責任監査法人)を退所しており、退所後約7年が経過しております。

当社は、東京証券取引所に提出するコーポレート・ガバナンス報告書において、候補者が会計専門家の出身者の場合、その独立性の判断基準としてクーリングオフ期間を5年とする旨定めており、玉井氏の独立性に問題はないと判断しております。

なお、玉井氏が監査等委員である取締役に就任した際は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしていることから、独立役員として同取引所に届け出る予定です。

(参考) 玉井氏を補欠の監査等委員である取締役候補者とした理由及び期待される役割

玉井氏は、公認会計士としての豊富な経験と高い知見を有し、当社における監査等委員である取締役の職務執行の監査・監督強化の役割を十分に果たしていただけると判断し、補欠の監査等委員である取締役候補とするものであります。

同氏が選任され、監査等委員である取締役に就任された場合には、経営における重要事項の決定や業務執行の監督等の職務を適切に遂行いただくことを期待しております。

株主の皆様におかれましては、当補足説明をご確認いただき、当該議案に関してご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上